

世界自然遺産を目指すやんばるにおける 地域参加型フェノロジー調査

活動地域



課題

現存するやんばるのフェノロジーカレンダーは1990年代のもので、昨今の我が国の自然環境の変化や人為的な影響を反映したものではなく、最新のデータが求められている。

目標

- ①地域住民によるフェノロジー調査の記録が12か月分蓄積される
- ②記録したデータから経年変化をとらえる意識と態度を備えた人材を養成する



今後の展望

フェノロジーの調査は単年度で終わるものではなく、継続性が重要である。今後も仲間を増やしながら地道に調査データを積み重ね、気候変動の影響評価につながる基礎データにつなげていきたい。



フェノロジー調査の実施

116回

活動の発信
(HP・SNS)

39回

今年度計画の達成度

75%

目標達成度

80%

活動内容と成果

地域住民参加型のフェノロジー(生物季節暦)調査を行った。任意の四つのコースを設定し、そのうち3コースは週1回、1コースは隔週1回の頻度で調査を計116回実施した。

また地域特性に基づく伝統的な生活文化や習慣等の情報調査を並行して実施した。自然環境の変化に影響を受けやすい一次産業従事者や自然ガイドに聞き取りを行った。

これらの調査結果の成果物として、フェノロジーカレンダーを作製した。



苦労した点と工夫した点

苦労した点

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での調査指導やヒアリング調査の実施が難しかった。

工夫した点

調査指導については、県内や村内の新型コロナウイルスの感染状況を逐次把握しながら、感染対策を徹底して実施した。



〒905-1411
沖縄県国頭郡国頭村字辺土名272
電話 : 0980-41-5504
E-mail : info@yambaruvision.org
HP : http://yambaruvision.org/wp/